



▲環境学習も兼ねて、ゴーヤの苗を植える園児たち(南部保育園)

5月21日(月)
緑のカーテンで
すこしやさしい夏を

緑のカーテン事業が保育園や小学校などの公共施設、53か所で始まりました。窓からの日差しをさえぎり、壁の表面温度の上昇を抑えることで、涼しげに夏を迎えようといわれたこの事業。冷房の使用が抑制され、節電効果も期待されます。



▲水面に青空が映るほどの快晴の下、気持ちのよい汗をかいた親子

5月13日(日)
おいしいお米が
実りますように！

田植え体験がサンテパークたはらで行われ、親子91名が参加しました。田んぼの泥の感覚に驚きとまどっていた子どもたちも、しだいに慣れた手つきで苗を次々と植えていきました。この日植えられたもち米の一種「恵もち」は、9月上旬に収穫される予定です。



▲避難所のより良い運営方法について、真剣に話し合う防災リーダーたち

5月12日(土)
地域の防災のため
実践的研修を積む

防災リーダー研修会が田原文化会館で開催されました。各地区から参加した約100名は、避難所運営の図上訓練を行いました。地域の自主防災活動の中心となる防災リーダーの皆さん。今後も、研修や訓練で技術を磨いていきます。